

商品開発や人材育成を含め AI 導入の可能性を大きく広げてくれました。



株式会社 日本統計センター
代表取締役社長 清水 誠さん

01

有給インターンシップを知ったきっかけは何ですか？

IT企業が所属するKIP(北九州情報サービス産業振興協会)が定期的にサロンを開催していますが、その際に紹介されました。かねてから九工大生には専門的な知識があることも知っていましたし、九工大との共同研究にも興味があり、すぐに連絡しました。九工大生との共同作業も、とてもおもしろそうだと感じました。

02

有給インターンシップに申し込んだ目的を教えてください

どの分野どの企業もそうかもしれませんが、AI推進が大きな課題になっています。私たちはAI導入を基礎からしっかりとやっていきたいので、九工大の学生の専門的な知見を取り入れたいと思いました。若い技術者を育てたいという、当社の産学連携推進の方針にマッチしていたことも、大きなポイントでした。



03

インターンシップ生を受け入れた感想をお聞かせください

正直なところ、想像以上でした。技術面では申し分なく、しっかり要望に応じてくれています。リモートでの作業ですが、社内ツールを活用してのコミュニケーションも充分ですし、自ら率先して動いてくれることもあって非常に助かっています。現在は6か月の契約ですが、引き続きこの制度を利用させていただきたいと考えています。

04

この制度を活用して得られた成果はありますか？

当社が蓄積してきた統計データを活用したRAG(検索拡張生成)の構築や、商圈レポートの読み解きコメント生成に取り組んでもらい、順調に進んでいます。今回、九工大生を受け入れたことで、AIがずっと身近になりました。AIを活用した商品開発や、総務や営業でのAI活用の可能性など、AI導入への大きな足掛かりになったと思います。

参加学生の声

Student's voice

有給インターンシップでは、大学の課題や研究とは異なる実務としてのデータ活用に触れることができました。特に、大規模データを扱うプロジェクトに携わる中で、設計段階から仮説検証まで組み立てる経験は非常に刺激的でした。また、担当の方から丁寧なフィードバックをいただくことで、技術面だけでなく、説明の仕方やプロジェクトの進め方といった実践的なスキルも磨かれたと感じています。今回のインターンは、学びと成長の機会を多く与えていただいた貴重な経験でした。今後の研究やキャリアの方向性を考える上でも大きなヒントを得ることができました。

情報工学部 知能情報工学科
データ科学コース 4年



株式会社 日本統計センター

Company overview

<https://www.nihon-toukei.co.jp/>

代表取締役社長：清水 誠
〒802-0005 福岡県北九州市小倉北区堺町1-2-16
十八銀行第一生命共同ビル5F



株式会社日本統計センターは、長年にわたり全国地域統計データベースを独自に構築・蓄積してきました。そして、それらデータベースを自社開発のマーケティングシステムに実装して、全国各地の地域社会やビジネスのさまざまな課題の解決を推進しています。「データで地域の未来を創造する」というビジョンのもと、今後も、地域の多様な課題解決に貢献していきます。

